

# 比較しながらよりよいものを決定する【比較】エリアチャート

【校種・学年】 小学校第1学年

【教科・領域】 生活科

【実践の概要】

- 1 単元名 あきとともだちになろう
- 2 単元の目標 自然物や身のまわりのものから、いろいろなものを作ったり遊んだりしながら、その楽しさを伝えあったり幼児と適切に関わったりできるようにする。

3 本時の実際

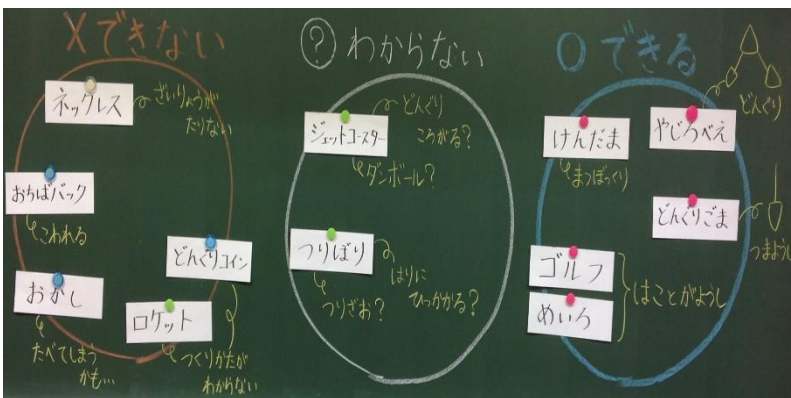
(1) 本時の目標

木の葉や木の実を利用し、身近なものを使って遊びや遊びに使うものを工夫して作り、そのおもしろさや自然の不思議さに気づき、みんなで楽しむことができるようにする。

(2) 本時の展開

時	主な学習活動	研究の視点
導入	○集めてきたものの確認 ・どんぐり ・まつぼっくり ・くるみ ・木の葉 ・木の枝  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;">                         みんながたのしめるおもちゃについてはなしあおう。                     </div>	
展開	○教科書で作れるものを確認する。 ○ <b>他に作れるもののアイデアを出し、エリアチャートを使って話し合う。</b> ・できる(青) ・できない(赤) 「私は、○○はできないと思うので、赤にします。…だからです。」	視点2 (3) 「思考を表現に置き換える」
終末	○できる(青)に入ったものを制作していくことを確認する。	

4 ツールに見られた思考の姿



5 成果と課題

○単純に多数決で決めるのではなく、理由を伝えながらできる・できないを話し合ったので、結果に納得している児童が多かった。

■できない理由は言えたが、できる理由を言うことが難しい。また、オリジナルのおもちゃはイメージしにくく、説明をするのに時間がかかった。